

読書の家から



新刊案内

■あぶた読書の家

△一般▽デス・エンジェ
ル(久間十義)▽大川契り 善
人長屋(西條奈加)▽モナドの
領域(筒井康隆)▽百年桜(藤
原緋沙子)▽言い訳だらけの人
生(平安寿子)▽戦国はるかな
れど 堀尾吉晴の生涯(中村
彰彦)▽砂の王宮(楡周平)▽
美麗島紀行(乃南アサ)▽東京
零年(赤川次郎)▽帰郷(浅田
次郎)▽ギブミー・ア・チャン
ス(荻原浩)▽ムーン・ナイト・
ダイバー(天童荒太)▽まった
なし(畠中恵)▽中野のお父さ
ん(北村薫)▽防諜捜査(今野

(重松清)

敏)▽分水嶺(笹本稜平)▽薄
情(糸山明子)▽タンポポ団地

△児童書▽恋文 ぼくとき

つねの物語(竹田津実)▽地球
のみえないところをのぞいて
みたら(てづかあけみ)▽おむ
すびさんちのたうえのひ(か
がくいひろし)▽そらまめくん
のベッド(なかやみわ)▽ほし
じいたけ ほしばあたけ(石
井基子)▽中学生までに読んで
おきたい哲学△全8巻▽(松田
哲夫編/案内人 南伸坊)

■みずうみ読書の家

△一般▽東京會館とわた
し△上・下▽辻村深月▽罪
の声(塩田武士)▽失踪者(下

村敦史)▽ラストラン(角野栄
子)▽円朝の女(松井今朝子)
▽眠りなき夜明け(高城高)▽
枕元の本棚(津村記久子)

△児童書▽エゾリス 北国
からの動物記(竹田津実)▽ド
ングリ・ドングラ(コマヤス
カン)

■洞爺総合センター図書室

△一般▽ベストエッセイ
(角田光代/林真理子他)▽小
説のように(アリス・マンロー)
▽しない家事(マキ)

△児童書▽だるまちゃんと
やまんめちゃん(加古里子)▽
どんぐりむらのだいくさん(な
かやみわ)

●開館時間

■あぶた(☎76・2100)
10時〜16時20分まで
■みずうみ(☎76・4702)
10時〜15時まで

●11月休館日

3日・10日・17日・23日・24日・
12月1日・8日・15日
(毎週木曜日・祝祭日休館)

■ピノキオクリスマス会

■日時 12月3日(土)
14時30分〜

■場所 さわやか別館

わたしのうた



短歌

【あぶた短歌会】

十月定例会

おのづから風に吹かれて赤き実は
秋光^{ひかり}つつみて野草は揺るる
さわやかな外氣にふれるをしあわせと
成して過ごさん吾が日々なりき
峠では初雪降りしと聞きたれば
冬も間近か暖房入れぬ
金魚すくい失敗おそれとりやめる
二匹の金魚を選びて購ふ
秋の陽に愛犬つれて散歩する
月見草咲き草地輝く

大西 芳子
山西 孝
北島 加代
太田 智
元田フジ子

俳句

【あぶた俳句会】

十月定例会

巡拝の白衣へとんぼう涼やかに
役引きし肩みなまろき良夜かな
深水の画^えを抜け出たか酔芙蓉
有珠山^{うすやま}が月を持ち上ぐ良夜かな
菊咲いて季節の移り知りにけり
秋日和「花の歳時記」娘より

矢野 知子
菅原 敏子
千葉 征子
小笠原 勇
三瓶 修
佐藤 美風

今月の1冊



恋文

作 竹田津実

道北できつねの写真を撮り
続けている竹田津実さんが、
数多くのきつねとの出会いを
語った写真文集です。四季
折々共に暮らしてきた作者の
きつねへの想いが綴られてい
ます。

